

ニーダーザクセン州建州75周年に寄せて

ニーダーザクセン州が建州75周年を迎えられましたことに、謹んでお慶び申し上げます。

貴州は欧州屈指の輸送産業の拠点として、また、世界最大の産業見本市の開催地として発展をつづけており、風力やバイオガスなどの再生エネルギーの利用においてもドイツの最先端を走っています。貴州の今日の発展は、ヴァイル首相閣下をはじめとする歴代首相のリーダーシップのもと、州政府や市民の皆様が積み重ねられたご努力の賜であり、深く敬意を表する次第です。

本県と貴州は、2007年に「交流に関する共同宣言」に調印して以来、スポーツ、経済、教育など、様々な分野で交流を進めて参りました。

特に、今年日本で開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」においては、本県と貴州の交流が礎となり、ハンドボール、カヌー、パラカヌーのドイツ代表チームが本県で事前キャンプを行われました。県民挙げてお迎えした代表選手の皆様が、その実力をいかに発揮され、大舞台で優秀な成績を収められましたことは、誠に喜ばしい限りです。また、このたびの事前キャンプは、次世代を担う本県の子どもたちに大きな夢と希望を与えるとともに、東京オリンピック・パラリンピックの「レガシー」として県民に記憶されています。

これもひとえに、ヴァイル首相閣下をはじめ、貴州の皆様によるご支援の賜であり、心から感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症は未だ終息しておらず、両県州の交流も大きな影響を受けています。一方で日独両国においてワクチンの接種が進んでおり、この感染症を乗り越えて両県省が以前のように互いの地を訪れ、さらなる交流を重ねられる日が近いことを確信しています。

貴州の輝かしい歴史の中に、本県との友好交流がしっかりと刻まれていることを光榮に思いますとともに、今後も手を携えて明るい未来を切り拓いていけることを楽しみにしております。

結びに、貴州の限りないご発展を心からお祈り申し上げます。

2021年11月吉日

徳島県知事 飯泉嘉門